



緩和ケアだより

平成 20 年 10 月 1 日

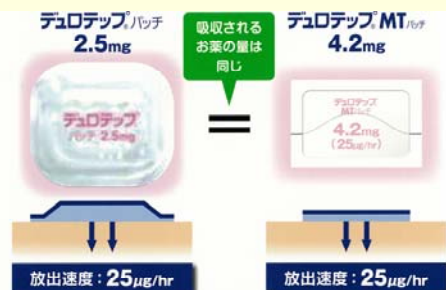
特別号

10月からデュロテップパッチが デュロテップMTパッチ に切り替わります！

デュロテップパッチが10月1日から、製剤的な改良を行い使い心地が良くなった**デュロテップMTパッチ**に切り替わります。また規格も、従来の2規格に加え、2.5mgパッチ半面貼付と、5mgパッチに相当する2規格が新たに採用され、4規格が使用可能となります。（下図参照）

従来のデュロテップパッチとデュロテップMTパッチでは、大きさ、厚さ、**パッチに表示されている薬の量(mg)が異なります**（デュロテップパッチ2.5mgはMTパッチ4.2mgに相当）が、薬の成分、効果は今までのものと変わりありません。従来のデュロテップパッチからMTパッチに切り替える際は十分ご注意ください。また、デュロテップパッチは**医療用麻薬**ですので、くれぐれも**切断して使用しないよう**お願いします

新規格として採用されたMTパッチ2.1mgと8.4mgは10月1日から使用できますが、MTパッチ4.2mgと16.8mgは、従来のパッチ2.5mgと10mgの在庫がなくなり次第順次切り替えとなります。ご了承下さい。



放出速度*	デュロテップ®パッチ		デュロテップ®MTパッチ	
	外袋	パッチ	外袋	パッチ
12.5 µg/hr		デュロテップパッチ2.5mg 半面貼付	2.1mg	デュロテップパッチ2.5mg =MTパッチ2.1mg
25 µg/hr	2.5mg		4.2mg	デュロテップパッチ2.5mg =MTパッチ4.2mg
50 µg/hr	5mg	当院不採用	8.4mg	
100 µg/hr	10mg		16.8mg	

切断禁止!

デュロテップMTパッチの特徴について

デュロテップMTパッチは、これまでのデュロテップパッチにおける課題を克服するために製剤的改良を行い、以下の特性があるとされています。

1. 従来のデュロテップパッチよりも小さく、薄い

貼付感改善！

2. パッチが傷ついても薬液流出の心配が無い

安全！

3. 添加物としてアルコールを含まないため皮膚障害が軽減

皮膚障害軽減！

4. ライナーにS字スリットが入り剥がしやすく、またパッチの粘着力もアップ

粘着力up！

デュロテップMTパッチ貼付のポイント

デュロテップMTパッチの貼付上の注意点はこれまでのデュロテップパッチとほぼ変わりませんが、薬剤の効果を最大限に引き出すために以下の点にご注意ください。

1. 胸・腹・上腕または大腿部にパッチを貼付しましょう

傷や皮膚障害のある部分、直射日光が当たる部分への貼付は避けましょう

2. 貼付部位は体毛の濃い部分を避け、あらかじめ乾いたタオルなどで水分や汗を拭き取りましょう

パッチを皮膚としっかりと密着させ、またパッチを剥がしやすくするためにも体毛の濃い部分は避けましょう。やむを得ないときはハサミを使って除毛してください。（カミソリ、除毛剤、毛抜き等では除毛しないでください）

3. パッチを貼付後、パッチの上から手のひらで30秒程度しっかりと押えましょう

貼付後、パッチの上から30秒程度押えることでパッチの接着剤が皮膚となじみはがれにくくなります。また、貼付時にはたるみなどのないようにしっかりと皮膚に密着させてください。

4. パッチを貼っている部位が直接熱源に接しないようにしたり、熱いお風呂に長時間入浴することは避けてください

貼付部位の温度が上昇することで、フェンタニル（デュロテップMTパッチの成分）の吸収が高まり、傾眠や呼吸抑制などが生じることがあります。また、入浴後はパッチがはがれていないか確認してください。

パッチ変更に伴い、疼痛管理ポケットマニュアルも改訂し後日配布いたします。ぜひ参考にして下さい。

